

# 広報 にしあいづ



## 自然の力で心と身体をリフレッシュ

5月27日、大久保自治区などの協力により、第1回目の「心と身体健康ウォークin大山」が開催され、町内外から大勢の方が参加しました。

ウォーキングコースは、大久保町営駐車場から大山祇神社本社までの片道約4kmのコースで、参加者は、杉並木の間からの木漏れ日や不動滝、弥作の滝など自然豊かな中、ウォーキングを楽しみ、心と身体をリフレッシュしました。

## 主な内容

みんなでつくろう「町の憲法」

まちづくり委員会会長・副会長インタビュー... P2~6

6月議会定例会報告..... P7

Nishiaizu NO.573

2006 7 月号

(平成18年)

編集と発行 福島県耶麻郡西会津町役場

☎ 0241 - 45 - 2211 (総務税政課)

<http://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/>

# みんながどしどし「町の憲法」

## まちづくり委員会会長・副会長インタビュー

町では、一昨年の「自立宣言」以来、協働による自立のまちづくりに向け、町の憲法となる住民自治基本条例をつくる作業を進めています。

その基本条例づくりの中心的な役割を果たす「まちづくり委員会」の会長・副会長に今後のまちづくりのあり方について聞きました。



まちづくり委員会 会長 新田 勉さん  
副会長 田崎 眞平さん  
副会長 紫藤 眞理子さん  
(聞き手) 総務税政課 薄 清久

(聞き手) まずは、新田さんに伺います。昨年6月にまちづくり委員会が発足し1年が経ちますが、この間どのような活動がされてきたのでしょうか。自己紹介とあわせお聞かせください。

まずは、町の現状や地方自治について知らなくてはいけないので、発足してから10カ月間は研修を中心に進めてきました。ここに来て、ある程度委員の皆さんの基本条例に対する共通した認識もできてきたということ、これから本格的な条例づくりに入るということ段階にきています。



(聞き手) 続いて田崎さんに伺います。まちづくり委員会の活動に参加されての感想を自己紹介とあわせお願いたします。

(田崎副会長) 長校に住んでいます田崎眞平です。西会津に婿に来て36年が経ちます。長校に来た当初は、本当にここで生計を立てていけるのだろうかと思っていました。なんとか腰を据え、やってきました。

今回まちづくり委員会に参加してみても、委員の皆さんはみんなこの町を本当に良くしたいと思っていて参加されていると感じます。約50名の委員さんは年齢もまちまちで、今後議論する中で、意見の相違や対立もあると思いますが、それも楽しみながら、良い方向に進めばと思います。

(聞き手) 紫藤さんに伺います。委員会活動に参加されて何か心境に変化はありますか。自己紹介とあわせお聞かせください。

(紫藤副会長) 下野尻の紫藤です。もともと西会津がふるさとですが、長い間離れていて、子どもができてから主人と3人で帰ってきました。子どもが保育所、小学校へと上がるにつれて、教育の問題が身近なものとなり、ここで育てることができて良かったと思うところもあれば、不便を感じる面もあります。

小さい子からお年寄りまで住みよいと感じる町にしなければいけないと思いますし、委員になつてからは多くの人と話そうと考えていることを聞いてみようという気持ちになりました。



まちづくり委員会会長 新田 勉さん

## 過疎を何とかしたい

(聞き手) 町では特色のあるまちづくりとして、トータルケア、ICT、ミネラル栽培などに取組んでいますが、一方では過疎化、少子高齢化が著しく進んでいる現実もあります。西会津の現状についてどう感じていますか。みなさんにそれぞれお聞きします。

(新田会長) 私は子どもの頃こちらにいて、30数年離れていて帰ってきたわけですが、どうしても昔と今を比較してしまいま

す。昔は人口が1万8千人ぐら

いいてにぎやかだった印象が強

## 教育の面に不安

(聞き手) 紫藤さんにお聞きします。先ほどお子さんを保育所や小学校に通わせて不便を感じることがあるということでしたが、具体的にはどのような点でしょうか。

(紫藤副会長) 子どもを育てる環境としては良いところで、連れてきて良かったと思つています。ただ、小学校の問題で、人数が少ないと先生の目が行き届くという利点もありますが、少人数だとできないこともたくさんあって、そういう面ではかわいそうな部分もあります。だからといって統合になると遠くから通う子は朝早く出て、夕方遅く帰ることになり、それもかわいそうです。それから最近若松方面の高校に行く子も多いようですが、地元の高校の生徒数が少なくなり、今後が心配です。

## 相互信頼にたつた協働

(聞き手) 地方分権が進められる中で、今後ますます自治体の役割が大きくなり、まちづくりで町民の役割も大きくなってきますが、町民のみなさんはどのような意識でまちづくりに参加すべきだと思いますか。それぞれにお伺いします。

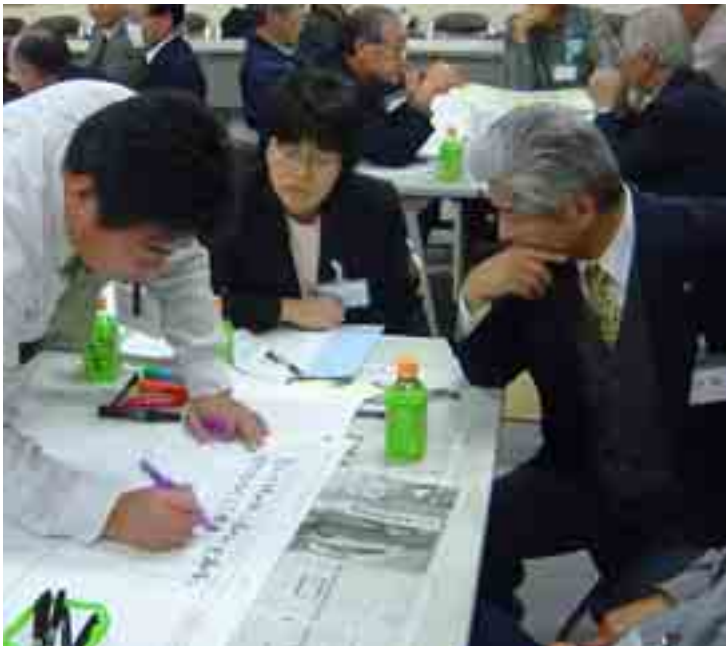


まちづくり委員会副会長 田崎 眞平さん

## 経済の活性化が重要

(田崎副会長) 我々町民が町と一緒に手を組んでやるためには、本心に経済の活性化につながるかどうかが重要になります。町の考え方と町民の思う活性化とが結びついたとき大きなひとつの力となります。

また、西会津ではごくあたり前だと思つているものでも、町外の人から見ればすくすばらしいということがあります。その点に気付いていないこともいっぱいあると思います。そんなふるさとの隠れた宝物をたくさんみつけ、その関係者が協力しあえば、きつと地域の活性化につながるおもしるいことが生まれると思います。



委員会でのグループ討議

## ボランティアに期待

(紫藤副会長) 町にはボランティアサポートセンターがあって、みんな自分ができるボランティアに取り組んでいます。すくなく良いことだと思います。これもまちづくりの一つだと思いますし、参加意識にもつながっているのではないのでしょうか。ボランティアに年齢は関係なくて、小中学生から70歳、80歳の方でも、自分ができることをすることによって、まちづくりの一端を担うことができます。だからボランティアには期待しています。

## とにかく実践

(聞き手) 多くの町民の方にまちづくりに関心をもってもらい、参加していただくためには、どうしたらよいと考えますか。皆さんにお聞きします。

(新田会長) 具体的に実践するしかないと思います。私も地域の活動として、「コスモス街道推進委員会」や「蛍やメダカが住めるきれいな川をつくる会」などをやっていて、はじめはいろいろと言われましたが、現在ではどちらも約70名の会員がいて、楽しくやっています。みんな町を良くしたいという気持ちは持っています。それを形にするには集約する場や集約する人が必要になります。実際の活動を通



まちづくり委員会副会長 紫藤 眞理子さん

し、喜びを感じ取って、それがまた別のところに影響を与え、いろいろな活動をする団体が出てくる。そうなることによって、まちづくりは成熟してくると感じています。

(田崎副会長) 活動する人が楽しみながらやることは重要です。楽しい姿を見て興味を持つ人が現れ、その家族がまた興味を持つ、というように広がっていくものだと思います。一、二人では、なかなか頑張れません。ネットワークを組んでいくべきだと思います。

(紫藤副会長) 私も子育てサークルや精神ボランティアなどいろいろ手を伸ばしてやっていますが、その多くの友だちと子どもことや生活のことを話して、そういうところから、なるべくまちづくりに反映できるように心に留めて生活しようと思っ

## 魂のこもった条例に

(聞き手) 最後に、これから住民自治基本条例を策定するにあたっての抱負をお一人ずつお聞かせください。

(新田会長) 他の自治体の策定済みの基本条例をみると、まずはどういうまちづくりをするのかという基本理念が最も大切と感じます。私が個人的に考えて

いるのは、いかに民主的な町をつくるかということと、町民・町・議員の役割がどのようになるのかをはっきりさせたいということとです。こういうまちづくりをしていくんだ」と8千5百人の町民が思えるような基本条例にしていかなければいけないし、今まで話したようなまちづくりが実践されやすいものにならなければいけないと思います。一部の人達のものではなく、どうすればみんなのものになるのが課題です。魂のこもった条例にしたいと思っています。

## つくる過程が大事

(田崎副会長) 基本条例をつくる過程が非常に大事だと思っています。たくさん議論して、町民の方が参加するチャンスをつくり、みんなで意識改革すべきです。基本条例をつくるのが最終的な目的ではありません。それを使ってまちづくりを実践することです。これからの議論の中で、誰も考えなかったような素晴らしい意見が出てくることを期待しています。

## 西会津ルネッサンス

(紫藤副会長) 住民自治基本条例を生むのはまちづくり委員会ですが、それをじっくり時間にかけて育てていくのは私たち町



民です。私の中では、今は「西会津ルネッサンス」だと考えています。昔あったいいものや元々あるいいものをもう一回見直して、全く新しいものをつくっていく、そういう西会津もいいのではないかと思います。みんなが良いと思うものをゆっくり時間をかけてつくっていくにはいいのではないのでしょうか。委員会では、皆さんが発言しやすいよう和やかな雰囲気をつくっていききたいと思っています。

(聞き手) これからも皆さんますます頑張ってくださいと思います。本日はありがとうございました。

# 住民自治基本条例とは

住民自治基本条例は、一口に言えば、その町のまちづくりの理念（方針や考え方）とそれを実現するためのしくみや制度を定めたものと言えます。町の憲法」とも呼ばれ、まちづくりの最も基本となるルールです。

このような条例は、平成12年に北海道ニセコ町ではじめて制定されて以来、数十の市町村でつくられ、現在策定中の市町村も多いようです。この背景には、少子高齢化や過疎化、高度情報化、環境問題など地域の抱える課題が複雑・多様化し、今までのような国主導による一律の地域づくりでは課題の解決が困難になってきたことがあります。そのため、国の制度を中央集権型から地方分権型に改める改革が行われており、今後ますます自治体の役割や権限が拡充されます。これからは地域住民が自ら考え、自ら決めていく、「住民自治」が求められており、それをルールとして保障するのが住民自治基本条例といえます。ただし、その内容にひな型や標準的なモデルといつのは存在せず、西会津の実情にあったものを町民の納得を得て定めていくことが必要となります。策定の方法

についても、とくに決まったものはなく、西会津町では、町民・議会・行政が一体となった「まちづくり委員会」で検討していくことを選択しました。

多くの自治体で規定されている項目（参考）

- まちづくりの基本理念
- 住民の権利
- 住民の役割
- 行政の責務
- 議会の責務
- まちづくりに関わる主体間の情報共有
- など

## 町民の声



尾形 隆文さん  
(新町)

もう少し町民に分かりやすい説明をしながら、情報交換をして欲しいと思います。過疎化が進む中で、地元に残った若者が、残ってよかったと実感できるまちづくりを期待するとともに、私たちも何らかの形で、一緒になってまちづくりをしていきたいと思っています。

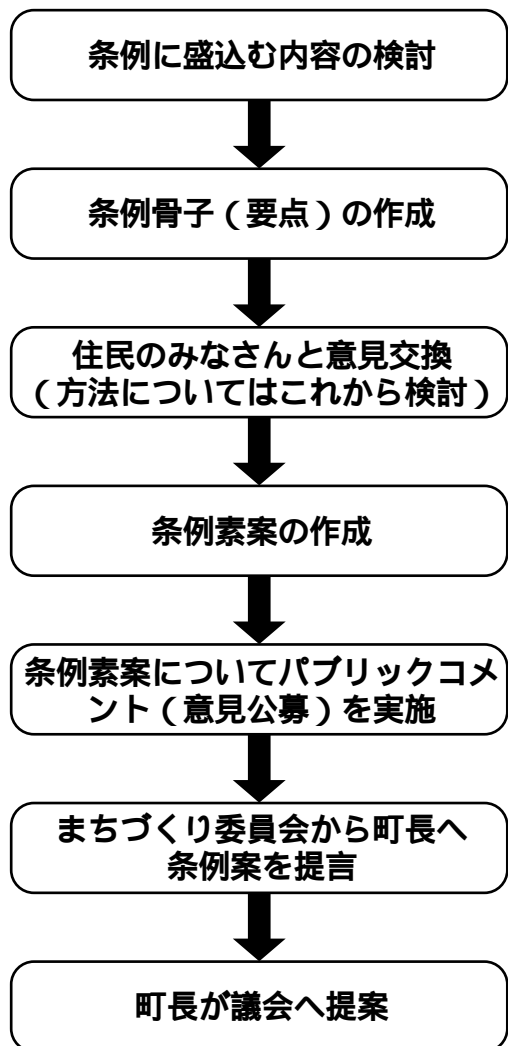
## 役場プロジェクトチーム発足

まちづくり委員会とともに住民自治基本条例づくりに取り組む役場職員による「協働のまちづくりプロジェクトチーム」が、5月に発足しました。まちづくり政策室5名とその他の課より5名の合わせて10名の職員で構成されます。今後は、まちづくり委員会での協議を踏まえ、条例骨子(要点)や条文の作成にあたります。



## 今後の住民自治基本条例づくりの流れ

町民・議会・行政の代表者による「まちづくり委員会」が中心となって、役場プロジェクトチームとも連携しながら、おおむね以下の流れで作業を進めます。



5月のまちづくり委員会にプロジェクトチームの一員として参加し、委員の皆さんの熱意が伝わってきました。これから条例づくりの具体的な作業が始まりますが、できるだけ多くの「思い」を条例に反映し、「みんなの条例」ができるようがんばりたいと思います。



山口 則夫  
(役場プロジェクトチーム)

# 6月議会定例会報告

## 10議案を原案のとおり可決



6月議会定例会は、6月14日から16日まで、3日間の会期で開かれました。

今議会では、平成18年度一般会計補正予算をはじめとする10議案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

本号では、町長からの町政主要事項報告と可決された議案についてお知らせします。

### 町政主要事項報告から

にしあいづ地域包括支援センター

介護保険法が改正され要介護状態になることをできる限り予防し、要介護状態となっても状態が悪化しないようにする予防型の制度に転換されました。

これは町が平成15年度より東北大学大学院・辻一郎教授の指導のもと進めている、健康寿命延伸事業と合致する内容となっており、地域支援事業については、町が拠点施設として、にしあいづ福祉会に業務委託し、4月1日に、にしあいづ地域包括支援センターを開設しました。

主な事業としては  
介護予防の支援及びマネジメント

介護保険以外のサービスを含む、高齢者や家族に対する総合的な相談・支援

高齢者に対する虐待の防止、早期発見等の権利擁護

支援困難ケースへの対応などのケアマネージャーへの支援の4つの事業を一体的・継続的に実施し、町民の皆さんの様々な相談に応じています。

### 専門員の配置

町では、健康な体は健康な食べ物から「健康な食べ物はミネラル分を含んだ健康な土から」という考えに基づき、平成10年度から農業科学研究所所長中嶋常允先生の指導をいただきながらミネラル栽培に取り組んできました。

また、生産量の拡大を図るため、平成16年度からは耐雪パイプハウスのリース事業や農業構造改革特区の認可を受け、安定供給体制の確立と安定収入の確保を目指してきました。

こうした中で、生産者をはじめ関係者の生産・技術指導などを行う専門的な知識と経験を持った専門員として、4月1日に斎藤正健(せいけん)さんを任命しました。

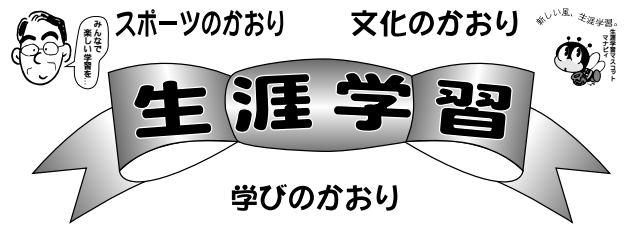
公の施設の指定管理者の指定  
指定管理者と基本協定及び年度協定を締結し、4月1日より町温泉健康保養センター、さゆり公園など13施設について、指定管理者による管理運営に移行しました。

### 可決された議案

町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認  
町税特別措置条例の一部を改正する条例の専決処分の承認  
町税条例の一部を改正する条例

町国民健康保険条例の一部を改正する条例  
平成18年度補正予算(一般会計・老人保健特別会計)  
喜多方地方広域市町村圏組合規約の変更

権利放棄(喜多方広域ふるさと市町村圏基金)  
人権擁護委員候補者の推薦(平野茂穂さん(上野尻)・猪俣ナヲ子さん(道目))



## 「奥川健康マラソン大会」 協働開催

昭和51年に「奥川へとへとクラブ」の皆さんの手により、産声を上げた本大会も今年で31回目の開催となりました。

第20回大会までは、奥川地区の方々によって行われていましたが、第21回大会からは、地域の皆さんと行政とが手を携え協力し合う『協働』により大会が運営されています。

町では、「協働のまちづくり」を進めています。本大会は、まさに『協働』の第一歩を先駆けて取り組んでいる大会です。一緒に本大会を盛り上げていただいた奥川地区の皆さんの活躍している姿を取材しました。

### 地域の力で大会を運営



実行委員長  
井上 國男さん

奥川健康マラソン大会が今回で31回目になり、高知県からの参加や、目の自由な方の参加もありました。多くの参加者を支えているのは、地域のボランティア活動による力が大きく働いています。赤十字奉仕団の山菜汁の提供や交通会による案内板設置・交通整理、地域の方々による沿道の草刈り作業、奥川小学校児童による鼓笛隊の演奏、そして地元の方々の準備運営と本当に多くの方々の応援によってこの大会が成り立っています。少しでもこの大会が成り立っていき、走っていただければ幸いです。

### 会場全般をまとめる総務部



総務部長  
三瓶 純一さん

マラソン大会に参加した選手の皆さんが、自然豊かな奥川路を走り、満足され、「また奥川に来るよ。」と言っていただけると共に、この大会に携わった各係の皆

さんが「来年も一緒に頑張るべ。」と言いつける大会になって欲しいと思いつながら準備をしていました。各係は、主任の方を中心に積極的に準備に取り組み、今大会が無事終了できましたことに感謝申し上げます。来年も行政と地域が協力し合う素晴らしい大会になりますようご協力よろしく願います。



ゴールまであと少し。ガンバレ！

### 選手受付係

「奥川マラソン大会が出来るのは、町内の会社や商店等のやさしい協力と、大会当日に他の行事を当てないよう調整し、『係の一員として手伝いたい。』と言う気持ちで集まって来る、大勢の奥川住民のボランティアの力が特に大きいと思います。皆さんは口には出しませんが、奥川の為に頑張ろう、そして楽しもうと心の

どこかで思っているのではないのでしょうか。私もその中の一人なのかも知れませんが、今日は天候もよくて良かったです。」と話す主任の長谷川昭英さん。



受付に間違いがあったら大変！

### 選手の安全確保交通係

朝6時から車の誘導やランナーの安全確保に活躍した交通係。大会実施中、事故の無いように、そして選手が走りやすいように交通整理をがんばっています。」と話す主任の矢部忠夫さん。





### 選手接待係

前日の下ごしらえから、当日のおにぎりと山菜汁の配布まで大忙しの選手接待係。1カ月前から山菜の手配など準備していただきました。皆さんに美味しく食べていただくためにがんばります。」と話すチーフの佐藤トキイさん。



### 寄宿舍接待係

選手の着替えや走った後のお風呂提供など寄宿舍を開放し、選手や警察などの接待も担当。「走り終えたランナーがリラックスして、少しでも疲れがとれるようにがんばっています。」と話す主任の佐藤八千子さん。

### 完走証発行係

ランナーへの記念として完走証を発行する係です。「タグを使って完走証を発行するのは初めてなので、間違いないように心がけました。最後まで気持ちよく終わってほしいです。」と話す主任の長谷川成博さん。

### 飲物供給係

奥川支所前や5kmと10km折り返し地点に補給所を設置し、ランナーへ水分を供給する係です。「遠くからも地元の人もあり身体に無理をしないでいい記録が残せるように、その手助けに少しでもなればいいと思います。」と話す奥川支所前補給所主任の玉木美智子さん。



### 無線係

ランナーの事故に迅速に対処するためアマチュア無線などでランナーを見守る係です。「緊急事態の場合に、救護の手伝いをします。何も無いことが一番ですけれど。」と話す生江克志さん。



### 場内放送係

開会式から閉会式まで、本大会をスムーズに運営する役割を担う放送係です。「流れがスムーズにいくように心がけています。選手を一番に考え、場違いな事を言わないように気をつけています。」と話す三瓶たかさん。



### 救護係

ランナーのケガ等の応急処置をします。「何も無く無事に完走してもらいたいです。何かあったら救急処置は任せて！」と話す小野木信子さん。

### タグ回収係

各ランナーの記録は、今大会から磁気(タグ)による集計方式を採用し、そのタグを回収する係です。「係員相互の連携が成功の秘訣です。間違いないようにがんばります。」と話す猪俣常三さん。

### 賞状係

入賞者の賞状を作成する係です。「回っていてきたこの大会を、今後皆さんの協力のもと続けていってほしい。」と話す川上甫さん。



ここに紹介した係の他に「会場及び寄宿舍管理係」「会場衛生係」「観光物産係」「表彰係」など、地域の皆さん約200名が携り、事故もなく盛會に終了することができました。今後も協働による本大会を続けていき、協働のまちづくりと情報の発信をしていきます。

## はるばる賞を受賞

高知県四万十市から17部門60歳代10kmに初参加いただきました兼松尚さんです。

～感想を一言～

ランナーズでこの大会のことを知りました。旅行とマラソンが趣味で、今年は山里のマラソンに出てみようと思って来ました。四万十川の近くに住んでいますが、ここも違った自然が一杯あっていいですね。昨日は会津の観光をしてきました。明日も観光して帰ります。



**各地区でスポーツ行事開催**  
全町的に田植えも一段落し、各地区でスポーツ行事が行われました。

**尾野本地区町民バレーボール大会**

6月4日(日)、さゆり公園多目的広場において、第35回目となる尾野本地区町民バレーボール大会を、地区の皆さんの協力を得ながら開催しました。健康増進維持と親睦融和を図り、豊かな長寿社会をめざしている本大会は、好天の中、地域の皆さんが一堂に会し楽しい一日を過ごしていました。



白熱した試合の結果は・・・

総合優勝 森野  
一般の部 森野 縄沢 西林・さゆりが丘  
青年の部 森野 松尾 萱本  
婦人の部 森野 黒沢 松尾

**第28回新郷地区球技大会**

新郷地区では、6月11日(日)に新郷小学校体育館とグラウンドを会場に球技大会を開催しました。今までは、男性はソフトボール、女性は家庭バレーボールを行っていましたが、今年から女性はソフトバレーボールに競技を替えて、少ない人数でも大会に参加できるようにしました。天候の心配もありましたが、ソフトボールも無事行うことができ、両種目とも白熱したゲームが展開されました。



判定はどっち

ソフトボール  
優勝 笹川Bチーム  
準優勝 笹川Aチーム  
ソフトバレーボール  
優勝 笹川Aチーム  
準優勝 笹川Bチーム

**群岡地区親善ゲートボール大会**  
6月4日(日)、西会津町群岡体育協会

と西会津町公民館群岡分館が主催した第21回群岡地区親善ゲートボール大会をすばやく西会津において開催しました。当日は、10チームの参加で、日頃鍛えた腕を披露して、好ゲームを展開しました。



ボールに当たってくれないかな・・・

優勝 上野尻Bチーム  
準優勝 下野尻Aチーム  
第3位 端村チーム、下野尻Bチーム

**友達の輪を広げよう**

6月11日(日)に「わんぱく塾」「ふるさとふれあい教室」「新郷チャレンジ教室」の会員が一堂に会し、「自然保護と歴史文化を勉強するため、南会津町の駒止湿原と、下郷町の大内宿を散策してきました。もう一つの目的に、他校の児童と仲間作りを行い、友達の輪を広げてもらうために合同で行いました。

自然の大切さを肌で感じ、今までは違ったメンバーと楽しく一日を過ごしていました。



曇り空でも、子どもは元気！元気！

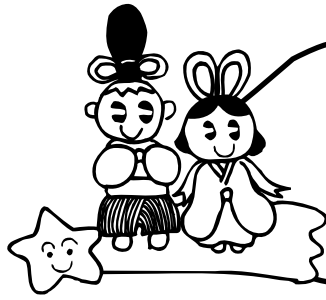
**キッズ・アートクラブ開講**

6月17日(土)に開講式と第1回目の活動を西会津中学校技術室で行いました。キッズ・アートクラブは、絵や造形活動をとおして、豊かな発想や創造的な技術を育成するとともに、異学年とのふれあい学び合いから少年の健全育成を図るため、町内小学校の児童を対象に開催するものです。

今回の活動は切り絵のアート作成でしたが、お父さんやお母さんに助けってもらいながら楽しい一日を過ごしていました。

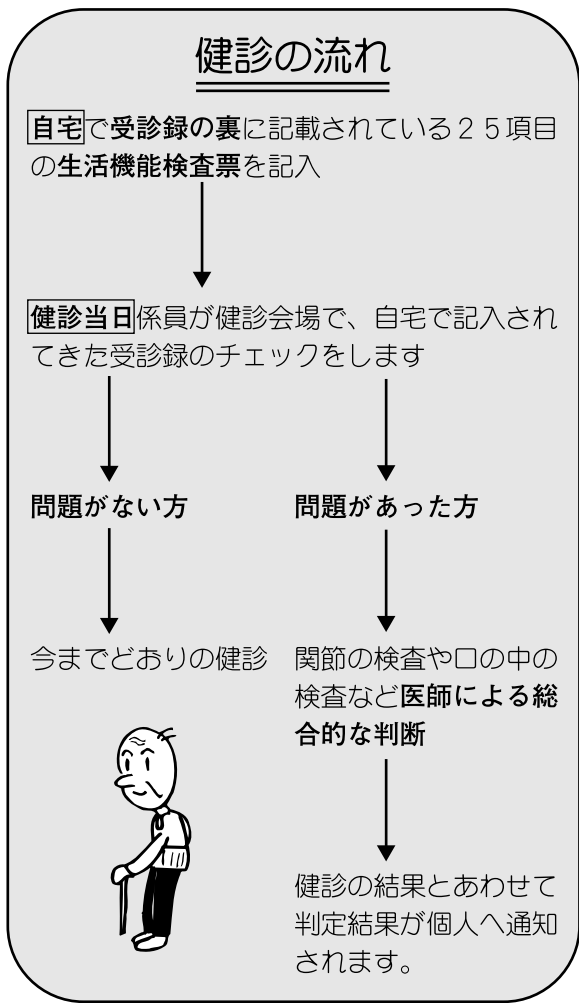


うまくできるかな...



# すこやかな生活を応援します いきいきライフ

## 65歳以上の基本健診が変わります



**特定(虚弱)高齢者を選定します**

平成12年に開始された介護保険制度は、介護認定者が増加し、要介護状態が軽度の人の割合を上まってきました。そのため要支援・要介護になるおそれのある方(特定高齢者)を早期に見つける必要があります。

**25項目の基本チェックリストが加わりました**

平成18年4月から基本健康診査に、高齢者の介護予防の取り組みとして、65歳以上の方には次の項目に関する生活機能票が加わりました。

- 運動の項目
- 栄養の項目
- 口腔機能の項目

閉じこもりの項目  
認知症の項目  
うつ病の項目

\* 特定高齢者とされた方は、地域包括支援センターで、本人の意向や生活環境などを考え、介護予防プログラムを作成し、意向に応じて介護予防のサービズを利用することとなります。

**町の総合健(検)診は...**

7月24日(月)

～8月21日(月)

です。詳しくは後日保健指導員より配布されるチラシをご覧ください。



**【問い合わせ先】**

保健センター

☎ 47 2306

**すごいな!むし歯のない子**

5月24日、3歳児7名を対象に健康診査を行った結果、虫歯のない子は4名でした。



齋藤 優輝くん  
(上野尻・淳)



薄 涼雅くん  
(西林東・清久)



佐藤 奈々ちゃん  
(芝草・俊一)



黒澤 怜花ちゃん  
(芝草・将幸)

# まちの 話題

## 新緑の奥川路を力走

6月18日、第31回奥川健康マラソン大会が開催され、初夏の奥川路で564名のランナーが健脚を競い合いました。

当日は小雨がぱらつく天気でしたが、ランナーにとっては心地よいシャワーとなり、暑くもなく走りやすい天気となりました。

なお、町内の入賞者(10位まで)は次のとおりです。(敬称略)

- 第1部門 伊藤峻・武美(奥川小) 薄菜奈・敏彦(樟山)  
熊倉聖那・友和(奥川小) 市橋東磨・富美(とびく  
らキッズ)
- 第2部門 渡部悠太(尾野本小) 五十嵐旬(上  
野尻) 市橋卓磨(とびくらキッズ)  
貝沼柊哉(群岡小)
- 第3部門 上野史絵(野沢小) 鈴木亜美(野沢  
小) 矢部千尋(奥川小) 船橋風音  
(野沢小) 川上七彩(奥川小) 井上  
葵(奥川小) 矢部穂乃香(奥川小)  
佐久間裕美(奥川小)
- 第4部門 三瓶佑太(奥川小)
- 第5部門 矢部千秋(奥川小) 坂田千尋(尾野  
本小) 薄上あおい(尾野本小)
- 第6部門 田崎みずほ(西会津中)
- 第7部門 伊藤寛朗(西会津中) 薄上南平(西  
会津中)
- 第8部門 渡部泰子(西会津中)
- 第9部門 井上貴子(西会津陸協)
- 第12部門 鈴木洋(西会津陸協)
- 第13部門 伊藤徳晃(会津高)
- 第18部門 斎藤正利(町役場) 渡辺聡(奥川小)



沿道の声援を受けて一生懸命走ります

## 町女性消防隊

### 県知事表彰を受賞

5月31日、白河市で開催され  
た第59回福島県消防大会におい  
て、町民の防火意識の高揚に努  
めた功績が認められ、町女性消  
防隊に県知事より表彰旗が授与  
されました。

町女性消防隊は平成7年4月  
に結成され、現在67名が活動し  
ています。

目黒豊子隊長は「これからも  
活動の充実と組織の発展に努め、  
火災のない明るいまちづくり  
に貢献していきたい」と抱負を語  
っていました。



## 「山ノ神さま」参拝客で賑わう

「一生に一度はなじょな願いも聞きなされる」として  
信仰が寄せられている大山祇神社春の例大祭が、6月  
1日から30日までの1カ月間に渡り開催されました。  
連日、マイカーや大型バスで県内はもちろん、新潟  
など県外からも大勢の参拝客が訪れ、それぞれに熱心  
に願いを込め参拝していました。

また土・日曜日には、太々神楽の奉納や野だてが行  
われ、参拝客は、お参りの後、足を止め楽しんでいま  
した。



前列左から目黒豊子隊長、大沼真理子副隊長  
後列左から江川新壽副団長、渡部修団長、江川貞一  
副団長



### 爽やかな町内をウォーキング

6月4日、野っ<sup>や</sup>てみんべえ会主催の桐ヶ谷散歩かっぱまつりが道の駅「にしあいづ」をメイン会場に開催されました。

昨年までは秋に開催されていましたが、今年は6月に開催されることになり、参加者は恒例の健康ウォーク大会で、爽やかな気候の町内を堪能していました。



### 女性の戦い

6月2日、ゲートボールシーズンの到来を告げるレディースゲートボール大会がさゆり公園ふれあい広場で開催されました。

6月の心地よい日差しの中、女性同士の激しい熱戦が繰り広げられました。

大会結果

優勝：下野尻B

準優勝：尾登

第3位：松尾、宝川B



### 西会津郷友会が開催される

5月27日、会津若松市内で西会津郷友会が開催されました。

総会後の懇親会では、参加者同士、懐かしい思い出話に花が咲き、和気あいあいとした雰囲気の中、会は行われました。



### 満100歳おめでとうございます

齋藤ヒサさん(堀越)が6月21日に、満100歳の誕生日を迎え、同日、山口助役から賀寿並びに特別敬老祝金の100万円が贈られました。

町では、平成5年に「百歳の挑戦」をスローガンに健康のまちづくりに取り組んできましたが、町内で満100歳を迎えられ、特別敬老金が贈られた方は、ヒサさんで11人目となりました。

ヒサさんは、とても健康で身の回りのことなどもすべて一人ででき、洗濯も自分でやられるそうです。長寿の秘訣は「規則正しい生活(夜8時には、就寝)。食事もわがままを言わずにすべて食べること」だそうです。



### なつかしの名車がズラリ

5月29日、「第3回西会津ふるさとなつかしモーターショー」がさゆり公園で開催されました。

当日は、小雨がばらつく天気でしたが、会場にはスーパーカーや懐かしの名車、バイクを一目見ようというファンが町内外から大勢来場しました。

来場者の中には、お気に入りの車を見つけては、携帯電話やカメラなどで写真を撮る人、車の持ち主の話を熱心に聞く人で、会場は大賑わいでした。

また、ミニSLやボンネットバスの運行もあり、家族連れにも大好評で、古き良き時代の名車を堪能した一日となりました。

# みんなの広場



武藤 道廣さん  
〔新町〕

小柴 敬さん(6月号から)  
メッセージ  
町議会議員として、住みよいまちづくりに頑張ってください。

あなたの趣味は？  
釣り

これからやってみたいことは？  
満開の桜の下で、モーモーフェスタを開催すること

あなたの特技は？  
剣道(2段)

最近感動したことは？  
高揚塾の仲間へ植えた桜(想い川)の下で花見をしたこと

熱中していることは？  
サッカーワールドカップ

次の方を紹介してください。  
T・Kさん(新町)

あなたのモットーは？  
為せば成る！

自分を一言で表現するとしたら？  
自己表現が不器用で短気

あなたの宝物は？

「4人の子どもと一緒に初詣(地の神社)したときの写真」  
「今は4人がそろふ事はなかなかないし、いつ親離れ、子離れができるか、不安でもあり、楽しみでもあります。」



## 文

### 上野尻俳句会

紅ぼたん日影をほしとみだれ散る

青津 好子(上野尻)

柿の花虫食ひ状に空き家増え

斎藤五早男(上野尻)



花菖蒲稲荷の鳥居朱に染まり

広瀬ひでお(白坂)

梅雨に入る濡れて乾かぬ繩束子

長澤 幸(芝草)

酒五勺茄子の丸漬け二つ三つ

清野 ふみ(上野尻)

葵咲く同じ名の子とかくれんぼ

渡部ミツイ(芝草)

## 芸



### 誰かに読んでもらいたいこの一冊

このコーナーは、西会津中学校図書館会員の方に、お気に入りの図書館蔵書を一冊紹介していただくコーナーです。今月は、大槻洋之さん(芝草)にお勧めの一冊をご紹介します。

『だんまり(おろぎ)エリック・カール作、くどうなおこ訳、偕成社』この本は子どものお父さん、お母さんに子どもと一緒に開いてもらいたい一冊です。大槻さんは月に二、三度、図書館にお子さんの柗太郎と一緒に絵本を借りに来るそうです。

「この作品は、生まれたばかりの鳴けないおろぎが、同じ仲間のおろぎや、いろいろな虫に出会って成長していく話なんです。鳴けなかったおろぎが最後に女の子のおろぎに出会って・・・おもしろい仕掛けがあるんですよ。それは、この本を開いてみてのお楽しみですよ。」

エリック・カールの絵本は、仕掛けが多くて楽しんで読めるので、自宅にも何冊かあるそうです。  
「絵も綺麗だし、話自体もそんなに長い本ではないので、3、4歳くらいの子どもにはピッタリだと思います。」

また、それより小さい子どもでも、最後に仕掛けがあるので、楽しんで読むことができます。一冊だと思えます。

ぜひお子さんと一緒に、この本を開いてみてはいかがでしょうか。」と紹介していただきました。





軽に問い合わせください。

【問い合わせ先】

健康福祉課福祉介護係  
☎45 2214

ユニバーサルデザイン  
セミナー開催

喜多方建設事務所では、県民の皆さんにユニバーサルデザインに関する情報を広く知ってもらうため、セミナーを開催し、講演や事例紹介を行います。入場は無料です。

日時

7月27日(木)  
午後1時30分

会場

喜多方プラザ 小ホール

【問い合わせ先】

喜多方建設事務所  
☎0241 24 5717

児童扶養手当等の

現況届を忘れずに

現在、児童扶養手当や特別児童扶養手当を受給されている方は、受給資格の審査のため、現況届や所得状況届を8月に町へ提出しなければなりません。

現在、手当を受給されている方には、町から提出書類が送付されますので、期限までに忘れずに提出してください。

なお、現況届を未提出の場合、自動的に受給資格を失うこととなりますので注意してください。

また、これらの手当についてのご相談がありましたら、お気軽に

たは中間処理業者  
納税額

産業廃棄物の最終処分場への搬入重量1トンにつき  
1,000円

徴収方法

委託最終処分の場合、最終処分業者による特別徴収となります。(自社最終処分の場合、排出事業者による申告納付)

【問い合わせ先】

会津地方振興局県税部  
課税第二グループ  
☎0242 24 5264

警察官を募集します

平成18年度福島県警察官採用試験が次により行われます。

受付期間

7月31日(月)

8月11日(金)

第1次試験日

9月17日(日)

採用予定人数

男性警察官 45名程度

女性警察官 5名程度

受験資格

昭和52年4月2日から平成元年4月1日までの生まれの方で次のいずれかの方は除かれます。

大学を卒業した方または平成19年3月末までに大学を

卒業する見込みの方

人事委員会が 該当する方と同等の資格があると認める方

【問い合わせ先】

福島県警察本部警務教養課  
人事係採用フリーダイヤル  
☎0120 276314  
喜多方警察署警務課  
☎0241 24 5111

「住警器119番」

窓口を設置しました

住宅用火災警報器の設置に関する問い合わせに対応するため、

西会津消防署内に相談窓口「住警器119番」を設置しました。

住宅用火災警報器について、不正訪問販売によるトラブル防止対策等の不安など疑問・質問等がありましたら、来署または電話・FAXで問い合わせください。

なお、相談は随時受け付けています。

【相談・問い合わせ先】

西会津消防署

相談窓口「住警器119番」  
☎45 3119  
FAX 45 2263

現在県内で血液が不足しています。

献血にご協力をお願いします。

7月10日(月)

9:30~11:00 JA会津いいで自動車・農機センター  
12:00~13:30 アズール  
14:30~16:00 奥川小学校

「素敵です 献血している あなたの笑顔」

【問い合わせ先】

健康福祉課福祉介護係 ☎45-2214



戸籍の窓口

■平成18年6月1日現在	前月比
人口 8,622人	-25人
男 4,153人	-13人
女 4,469人	-12人
世帯 2,945世帯	-3世帯

■5月受付分 敬称略



お誕生おめでとう

新田 大翔くん	大輔・洋美	芝草
江川 正人くん	正樹・朋美	西林東
小柴 彩愛ちゃん	芳成・郁子	上小島

お悔やみ申し上げます

小島 正子(84)	哲太郎	妻	6町内
清野 榮一郎(85)	俊輔	父	6町内
星 ユキイ(85)	美鶴雄	母	四岐
渡部 トミヲ(71)	政江	姉	安座
河瀬 功(69)	篤	父	董本
杉原 サトシ(90)	徳美	母	松尾
須藤 ヨシ(82)	マレ子	母	下小島
安部 茂(54)	志郎	子	上野尻
佐藤 均(78)	徹	父	上野尻
佐藤 義夫(70)	富士子	父	白坂
須藤 イチノ(91)	正二	母	原

7月の納税等

水道料金・下水道料金  
インターネット使用料  
ケーブルテレビ使用料

納期限 7月10日(月)

固定資産税第2期  
介護保険料第2期  
土地改良区償還賦課金第1期

納期限 7月31日(月)

今月の心配ごと相談日

日時 7月7日(金)

27日(木)

午前9時~

場所 老人憩の家

電話 45-4259

7月の西会津診療所土曜診療日

7月1日(第1週)受付時間11時まで  
7月15日(第3週) "

西会津診療所 ☎45-4228

休日当番医(7月)

日	地区	医療機関名	電話番号	
9(日)	喜多方市	小野病院	0241(22)0414	
		ゆうゆうクリニック	0241(22)2111	
	会津若松市	にいでら診療所	0242(38)3676	
		浜崎小児科医院	0242(27)0951	
16(日)	喜多方市	あいげ整形外科リハビリテーションクリニック	0242(28)1205	
		有隣病院	0241(24)5021	
	会津若松市	渡邊小児科医院	0241(22)3133	
		北田内科医院	0242(38)2661	
		扇町渡部小児科アレルギー科医院	0242(25)5515	
	会津坂下町	志波医院	0242(22)0289	
		菅原医院	0242(83)2311	
	17(月)	喜多方市	佐原病院	0241(22)5321
			あきもと整形外科クリニック	0241(21)1515
		会津若松市	たてうまクリニック	0242(29)2112
			さとう小児科医院	0242(24)0830
	23(日)	喜多方市	入澤泌尿器科内科クリニック	0242(38)3711
			県立喜多方病院	0241(22)2181
		会津若松市	いとう眼科	0241(22)5900
			蛸谷クリニック	0242(28)8868
			森田小児科医院	0242(27)7686
30(日)		喜多方市	石田眼科医院	0242(27)0858
			小野病院	0241(22)0414
		会津若松市	猪俣医院	0241(22)0264
			永峯内科小児科医院	0242(27)2266
			いっぴがファミリークリニック	0242(32)3330
会津坂下町	あみウイメンズクリニック	0242(37)1456		
	星医院	0242(83)2136		

休日当番歯科医(7月)

日	地区	医療機関名	電話番号
9(日)	喜多方市	松崎歯科医院	0241(27)4802
	会津若松市	やたべ歯科	0242(27)5791
16(日)	会津坂下町	玉木歯科医院	0242(83)4818
	会津若松市	大竹歯科	0242(22)3835
17(月)	喜多方市	志田歯科医院	0241(22)0031
	会津若松市	一箕歯科	0242(22)1184
23(日)	会津美里町	福田歯科医院	0242(54)2030
	会津若松市	渡部(博)歯科	0242(22)1124
30(日)	喜多方市	なるせ歯科医院	0241(24)4676
	会津若松市	渡辺ゆうぞう歯科クリニック	0242(37)2232

編集後記

今月号の特集記事で、まちづくり委員会の会長、副会長と対談させていただきました。皆さんのお話からは、多くの町民の意見を聞いて、住みよいまちづくりをしようという意気込みが伝わってきました。今月号の特集記事を読んで、今まで協働のまちづくりに興味がなかった方が、少しでも興味を持っていただきたいと思います。行政、議会はもちろんです、町民の皆さんの積極的なまちづくりへの参画により、町の基本理念である「すべてにやさしい健康のまちにしたい」が、今まで以上に伸展していくのでは...と思います。